

# こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森  
Tel: 04-7132-8800  
Fax: 04-7132-8806  
Email: info@konbukuroike.com  
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2025年7月

第135号

## 主な予定

7月26日(土)

19:00~21:00

夜の昆虫観察会

8月16日(土)

ごちゃまぜ祭り 2025

於：ラコルタ柏

## 親方

山上 薫

「それじゃ、NPO なんかいないよ……」

確か今から六年くらい前のことです。私がNPOに入ってから間もなく、会計や助成金の担当になって張り切っていた頃、老朽化して危険な状態になり、通行止めになっていた地金堀沿いの木道を、助成金を使って業者にリニューアルしてもらったらどうかと考え、里山隊の隊長だった伯耆田さんに相談してみたところ、重く返ってきた言葉です。

活動日にはいつも地下足袋を履き、胸を反らして両手を大きく振り、ややガニ股に歩き回っては、大きな声で指示を出しながら率先垂範で作業する伯耆田さんは、まさに親方そのもので、最初は近寄り難く感じたのですが、電動ドリルの操作方法が分からずに四苦八苦していた私を遠くから見て、わざわざ自分の作業を中断して近寄ってきて、操作方法のみならず、替刃の保管場所まで丁寧に教えてくれました。

その後、直接間接に多くのことを伯耆田さんから学びました。挙げれば切りがありませんが、大きな教えの一つに段取りの大切さがあります。作業開始前に一息置いて、開始から終了までの手順や位置関係、所要労力などを見積もってから作業に取り掛かるということで、当たり前のようなようですが、なかなかできることではありません。ボランティアの作業時間は限られているので、素人は早く作業に取り掛かろうとしがちですが、伯耆田さんはそれを窘め、段取りを立ててくれました。深い経験に裏打ちされた伯耆田さんの知恵のお陰で、作業が驚くほど効率よく進み、時間内に終わらせることができたのでした。

冒頭に触れた地金堀沿いの木道は、伯耆田さんのイニシアチブで、木材や基礎とするブロックなどの材料の調達から、切断や組立て・塗装などの下処理、地固め、運搬、設置まで、全長約100メートルを三年かけて自前で完成させることができました。これは木道作業に限ったことではありませんが、その間、活動日に皆がスムーズに作業を行えるように、伯耆田さんは幾日、活動日以外の日にも愛用の自転車に乗って、一人公園に通ってくれたことでしょうか……今、この木道を辿って、多くの来園者が公園のシンボルとも言える湿地エリアの自然を

体験しています。他にも、事務所前の藤棚や、最後の大仕事となってしまった遊具丸太ステップなど、伯耆田さんが遺して下さった工作物は、私が知るだけでも園内の至るところに見ることができます。これらは伯耆田さんの的確なリーダーシップがあったからこそ、ボランティアながらこれだけのハイレベルに仕上げることができたのだらうと思います。

そして、目立ちませんが、それと同様に、否それ以上に感服していることがあります。それはメンテナンスについてです。こうした工作物は完成したら終わりというものではなく、利用者の安全のため、供用後のメンテナンスを欠かすことはできません。大型の台風が通過した翌日など、スコップを持ち、木道の下をのぞき込んで点検する伯耆田さんの姿がありました。

園内に生き続ける親方伯耆田さんの思い出は、里山ボランティアの真髓についての示唆を与え続けてくれています。

## 柏市内小学校3年生の校外学習による来園の報告

副理事長 中川 望

柏市では、こんぶくろ池自然博物公園（以下「当園」とします）を小中学生をはじめとする市民の皆様の「環境教育の場」と位置付けており、当NPOも事業目的の一つとして「自然環境の大切さ等を理解出来る環境教育などの啓発事業」を掲げています。この取り組みの一環として毎年春から初夏にかけて柏市内小学校が実施する小学3年生の校外学習の訪問先の1つとして当園を選ばれた小学校の来園を受け入れています。来園児童に対する園内ガイドは、当NPO会員が担当しています。因みに2017年度以降の来園校数及び来園者数（児童＋引率の先生方）は、下記の通りです。

年度	来園申込校数(*1)	来園者数(*2)	小学校名	備考
2017	4	476	十余二・柏第五・酒井根・旭	
2018	4	410	十余二・西原・酒井根・柏第四	
2019	5	469	柏第五・酒井根・旭東・土・柏第四	
2020	2	246	柏第一・十余二	コロナ禍のため来園校数減少。
2021	7	575	十余二・松葉第一(*3)・土・柏第四・旭東・松葉第二・柏第六	(*3)コロナ禍のため校外学習を中止。
2022	8	890	十余二・柏第四・増尾西・松葉第一・土・柏第六・柏第五・柏第三(*4)	(*4)炎暑による熱中症発症防止のため当園来園を中止。
2023	9	975	十余二・柏第四・柏第七・増尾西・土・松葉第一・柏第二・高田・柏第五	
2024	10	998	十余二・旭東(*5)・柏第六・富勢・柏の葉・柏第四・柏第七・藤心・松葉第一・柏第五	(*5)悪天候のため当園来園を中止。
2025	10	811	十余二・大津ヶ丘第一・旭東(*6)・富勢・柏の葉・柏第四・柏第五(*6)・松葉第一・増尾西・高柳西	(*6)悪天候のため当園来園を中止。

(\*1) 申込後に校外学習や当園来園が中止になった小学校も含めています。

(\*2) 当園来園中止校を除いた来園者実人数です。



時間の制約があるため、園内の一部しか案内できませんでしたが、子供たちは自然環境を満喫してくれたようでした。

昨年は、例年より暖かくなるのが早かったためか、ハチの営巣時期が早まったようであり、ハチの行動が活発化していました。今年は「子供たちの安全を守る」ために、事前に可能な限りのハチの営巣防止対策を実施しました。さらに、案内コースの見直しや園内ガイドの増員等の対策も講じました。気候に加え、これらの対策の効果があつたためと思われませんが、今年は園内見学実施時にハチに遭遇することがほとんどなく、安全に園内見学を終えることができました。

ところで、現在は当園内及び付近に大型バスを駐車できる場所がないため、徒歩15～20分離れた県立柏の葉公園駐車場に大型バスを駐車し、そこから当園まで徒歩で往復する必要があり、来園される小学校の多くの先生方から「当園付近に大型バスを駐車できる場所を確保してほしい」との要望を受け、過去数年間にわたり柏市公園緑地課様に検討をお願いしてきました。柏市公園緑地課様もこの課題解決に向けてご尽力してくださり、早ければ来年度中にも当園正面入口付近に大型バスも駐車可能な場所を確保できる見込みとなりました。当園正面入口付近に大型バスの駐車が可能となると、校外学習での当園見学を希望する小学校の増加が見込まれます。今年度は新たに4名の方々が園内ガイドとして協力くださいましたが、来年度はさらに園内ガイド需要が増えるものと見込まれますので、一人でも多くの会員の方々がご協力くださいますようお願いいたします。



## 柔道の父・嘉納治五郎と手賀沼

橋本谷 弘司

柔道家・教育者である嘉納治五郎は明治43（1910）年、50歳の時に初めて手賀沼を訪れます。風光明媚で東京からも1時間程度で行ける、この地が非常に気に入って1年後には別荘を建てるとともに約7万㎡（東京ドーム1.5個分）の土地を入手し理想的な学園を作ることを計画しましたが諸般の事情で実現には至りませんでした。この土地は農園となり、現在は住宅地（我孫子市若松）になっています。

その当時、柔術の流派は多くありましたが、嘉納は柔術の技術を基に柔道を開発し、明治15（1882）年に講道館を創設します。22歳の時でした。柔術は現在の古流柔術として少数派ですが依然とし活動しています。

嘉納は当初から柔道の海外への普及にも努めていました。

明治42（1909）年に日本で初めての国際オリンピック委員となり、昭和13（1938）年カイロで行われたIOC総会に赴き、東京大会誘致活動に尽力し、アメリカ経由での帰国途中の氷川丸船内で肺炎により逝去されました。

昭和15（1940年）の東京オリンピックの誘致に成功しますが、戦時下のため幻のオリンピックになりました。

昭和36（1964）年の東京オリンピックで柔道が初めて採用され、その後も、世界の柔道として発展していきます。

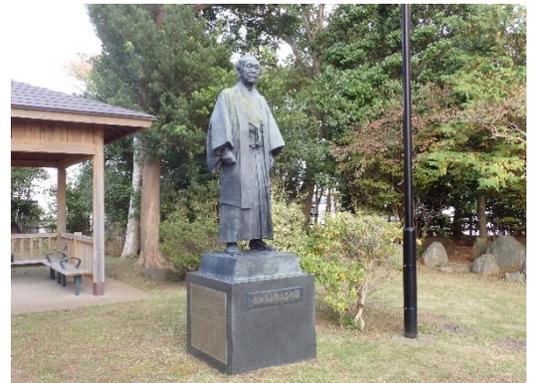
しかし、嘉納が目指していた柔道ではありませんでした。

嘉納の理念は、柔術の「柔よく剛を制す」の原理から、「精力善用」（自分の力を効率よく働かせるため、力同士のぶつかり合いを避け相手の動きを利用する）を技の原理として取り入れ、さらにこの原理を身体化した「自他共栄」（争いのない融和的な社会の形成に貢献しようとする）が、柔道を習得する目的だと教えていたのです。

終戦後、GHQ（連合軍最高司令官総司令部）により武道禁止令が出され、柔道、剣道、弓道などの武道が禁止されました。敗戦による治安情勢の悪化した日本の秩序回復に警察柔道は大きく貢献していることなどを訴え柔道は復活されますが、そのために、精神的な理念は後退し、勝敗を競うスポーツとしての柔道であることに重きが置かれるようになったと言われています。



**天神山緑地公園（嘉納治五郎の別荘跡）**  
公園入口近くに、シイ、ケヤキ、ムクノキなどの大樹があります。



**嘉納治五郎先生之像**  
2020年に我孫子市民の手で銅像が建てられました。原型は彫刻家・朝倉文夫の作でゆかりの地に5体あります。



四阿（あずまや）内の嘉納の書額（レプリカ）

【よみかた】

ひとをもって かがみとなす

【意味】

自分のことだけでなく、他の人のことを良く見て判断せよ



嘉納治五郎師範生誕祭での植樹

アセアン各国の若手柔道指導者と講道館関係者約40名で2019年10月28日にハナミズキを植樹しました。大きくなりました。

## 新入会員紹介

安岡 知子さん



参加動機：自然保護活動をしたい

趣味・好きなこと：山歩き

貢献できそうなこと：公園整備、調査、事務、会計

ひとこと：楽しみながら活動させていただきたいと思っています。